唐人町通り みちづくりニュース

Vol.1

2022.1発行

新町・古町地区では、歴史的建造物と一体となった公民連携のまちづくりを推進しており、その取組のひとつとして明八橋前～唐人町通りの道路空間の整備を予定しています。この「唐人町通りみちづくりニュース」では、道路整備事業の進捗や、ワークショップの様子などを地域の皆さんにご報告していきます。

第１回 唐人町通りみちづくりワークショップを開催しました！

第１回ワークショップの開催概要

第１回目の「唐人町通りみちづくりワークショップ」では、これまでのアンケート調査や意見収集結果を踏まえ、「こんな通りになったらいいな」をテーマに、道路整備の方向性について話し合いました。

日　　時：令和３年１２月１６日（木）１９時～
場　　所：五福まちづくり交流センター
参加人数：１５名

当日の流れ

事業・事務局案説明

事務局より事業説明を行い、これまでの意見収集結果とそれらを踏まえた課題やコンセプト、道路整備案などについて説明を行いました。

これまでの意見収集結果を踏まえた事務局案のポイント
①歩きたくなるみちづくり
②暮らしと商業の両立
③歴史的な街並みに調和するデザイン

グループワーク

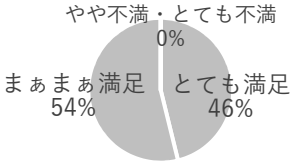
みちやまちのポイントとなる場所や大事にしたいことを話し合いました。さらに、必要な整備・デザインの方向性について考えました。

成果発表

最後に、各班の代表者から、グループワークでの結果やアイデア、特に重要なポイントについて発表してもらいました。

参加者の声（参加者アンケートを実施しました！）

■参加者満足度



■感想、自由意見

- 様々な問題が伺えて楽しかった
- らしさを生かしつつ、のんびりと歩ける空間になればいいなと思います
- 住んでいる人もお店の人も幅広い年代の人が楽しめる道になったら良い

五福小学校で意見交換を実施しました！

12/23に、五福小学校の６年生の皆さんに、検討模型を囲んで、こんな通りになったらいいな！というアイデアを出してもらいました！

第２回は、R４年２月２２日(火)１９時～開催予定です！
道路の各施設のデザインや配置、使い方などについて話し合う予定です。
詳しくは、別紙のお知らせまたは、熊本市HPをご確認ください。

熊本市HPは こちら⇒

【お問い合わせ】 熊本市　都市建設局　都市政策部　都市デザイン課（担当：石川）
TEL｜096-328-2508　FAX｜096-351-2182　MAIL｜toshidesign@city.kumamoto.lg.jp

裏面につづく

裏面

第１回ワークショップの結果まとめ

グループワークでは３班に分かれ、話し合いを行いました。ここでは、各班から出た代表的な意見を紹介します。各班それぞれの特徴が表れ、多様な意見が出されました。

	A班	B班	C班
全体の方向性について	• みち、川、遊歩道、ゆめマート前の道路など、**道路と周辺を一体的に**考える • **新呉服橋**が明八橋・明十橋の視点場として重要 • 新明八橋側交差点は、通りの入り口として通りのイメージを印象付けるため、特に重要	• 熊本駅方面からの出入口は新明八橋側交差点、サクラマチ側からの出入口は明十橋側交差点 • **明八橋前の道路を活用**して**来訪者・住民の交流スペース**に • 通り一帯を**時間・曜日で歩行者専用に**してもいいのでは	• 新しいマンション、古い町並みが混在、**多様性**がある • 住民等の「こんなことやりたい」を実現する**「みんなの道路」**になってほしい • **『この通りに住んでいる人がかっこいい』と思ってもらえるような通り**のブランド形成
通りでの過ごし方・使い方・必要な整備	• 日常的によく利用するルートなどを考慮した**「休む」「ゆっくりできる」場所**が重要 • **新呉服橋への案内**や休憩できる場所をつくる • 明八橋の桜を活かしながら、**「ゆっくりできる橋」**の存在を活かす • 道路の施設は、**耐久性の高い素材**にする必要がある	• 車道・歩道をフラットにする • **歩行者の安全面**への配慮が必要 • **明八橋周辺を古町と新町をつなぐ融和の場所**として活用し、住民や来訪者など、多様な利用者のための広場にする • **一町一寺を示す**場所として、心光寺への市道も唐人町通りと同じデザインにして、来訪者を引き込む	• **町屋の前にベンチ、パラソル**を設置し、通り沿いのベンチに腰掛け、通りを歩く人と**コミュニケーションの空間**に • **シンボルツリー**を植えるなどして、地域の「みんなのもの」としての道路にする • 「唐人町通りの使い方相談窓口」を設置し、**多様な活動**が生まれ、人を惹きつけるような仕組みをつくる
発表の様子			

五福小の児童が考えたまちの課題（五福小学校・塩山教頭先生より）

- 外からではどんなお店かわかりにくいお店がある、お店の解説があるといい
- 古い建物が地震でなくなった
- 自然が少ない、子どもが遊ぶ場所がない
- 車がスピードを飛ばしていて危ない　他

星野先生（熊本大学・熊本市景観審議会委員）からのコメント

- **熊本のこれからのまちや暮らしのモデル**となる重要なチャレンジとなる。
- **多様な人が集まり、多様な空間で成り立っている**ことが唐人町通りの魅力。
- ハード整備で出来ることは限りがある。**使い方やソフト面もみんなで考えていく**ことが大事。